

能代科技、3点差で初戦敗退 バスケウインターカップ

2021年12月24日 掲載

2021年12月24日 更新

※写真クリックで拡大表示します



【男子1回戦・能代科技—桜丘】第3クォーター、能代科技の高橋裕（左）がシュートに持ち込む＝東京体育館（日本バスケットボール協会提供）

バスケットボールの第74回全国高校選手権大会（ウインターカップ）第2日は24日、東京体育館などで男子1回戦と女子2回戦計36試合を行った。本県男子代表の能代科学技術は桜丘（愛知第2）と対戦し、追い上げ及ばず92—95で敗れた。初戦敗退は能代工時代の前回大会に続き2年連続。県勢は男女とも1回戦で姿を消した。

桜丘 95—92 能代科技

(34—32)

(17—20)

(20—16)

(24—24)

能代科技は最後まで粘ったが、桜丘に屈した。

76—88と12点を追う第4クォーター中盤。高橋裕が中央から切り込んでシュー

トを決めると、連続で3点シュート（3P）を沈めて詰め寄った。さらに秋葉、中嶋も3Pを決めて追いすがったが、あと一歩及ばなかった。